

定 例 記 者 会 見 資 料

日時 平成30年 2月19日(月) 11:00～

場所 白石市役所 3階 第3会議室

1. 2月市議会定例会提出議案について

2. その他

第430回白石市議会定例会予定表

平成30年2月23日～3月9日（15日間）

月 日(時)	曜	区 分	摘 要	付 記
2/23 (10:00)	金	本会議 <u>初中継</u>	開 会 諸般の報告（議長） 市行政報告（市長） 会期の決定 施政方針表明 第1号議案 第2号議案～第32号議案（31件） （人事）説明、質疑、表決 説明 【議案質疑通告締め切り（午後5時）】	（付託協議） 各常任委員会 議会運営委員会
2/24	土	休 会		
2/25	日	休 会		
2/26	月	休 会		
2/27	火	休 会		
2/28 (10:00)	水	本会議 <u>初中継</u>	第2号議案～第20号議案（19件） 質疑、委員会付託省略、討論、表決 又は質疑、委員会付託 第21号議案～第32号議案（12件） 質疑、予算審査特別委員会設置・付託 【一般質問通告締め切り（午後3時）】	
3/1	木	休 会 <u>初中継</u>	予算審査特別委員会審査	議会運営委員会 (9:30)
3/2	金	休 会 <u>初中継</u>	予算審査特別委員会審査	
3/3	土	休 会		
3/4	日	休 会		
3/5	月	休 会 <u>初中継</u>	予算審査特別委員会審査 常任委員会審査	
3/6	火	休 会	常任委員会審査	
3/7 (10:00)	水	本会議 <u>初中継</u>	市政に対する一般質問	
3/8 (10:00)	木	本会議 <u>初中継</u>	市政に対する一般質問 【討論通告締め切り（正午）】	
3/9 (10:00)	金	本会議 <u>初中継</u>	常任委員会付託議案（ 件） 委員長報告、質疑、討論、表決 第21号議案～第32号議案（12件） 委員長報告、質疑、討論、表決 議提第 号 議員派遣の件 閉会中における委員会の所管事務調査について 閉 会	

※市政に対する一般質問の日程は、質問者数の関係で1日となる場合があります。

第430回白石市議会定例会提出議案件名一覧

番 号	件 名
第 1 号議案	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて
第 2 号議案	白石市移住交流サポートセンター条例
第 3 号議案	白石市部設置条例等の一部を改正する条例
第 4 号議案	白石市企業立地及び事業高度化を重点的に促進すべき区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例
第 5 号議案	白石市白石都市計画特別工業地区建築条例の一部を改正する条例
第 6 号議案	白石市都市公園条例の一部を改正する条例
第 7 号議案	白石市営住宅管理条例の一部を改正する条例
第 8 号議案	白石市いきいきプラザ条例を廃止する条例
第 9 号議案	白石市旧学校利用施設条例
第 10号議案	白石市子育て支援・多世代交流複合施設条例
第 11号議案	白石市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例
第 12号議案	白石市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
第 13号議案	白石市米寿祝金支給条例の一部を改正する条例
第 14号議案	白石市国民健康保険事業財政調整基金条例の一部を改正する条例
第 15号議案	白石市国民健康保険条例の一部を改正する条例
第 16号議案	白石市介護保険条例の一部を改正する条例
第 17号議案	白石市地域包括支援センター条例の一部を改正する条例
第 18号議案	白石市地域包括支援センターにおける包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
第 19号議案	白石市道路線の廃止について
第 20号議案	白石市道路線の認定について

第 2 1 号議案	平成 2 9 年度白石市一般会計補正予算 (第 8 号)
第 2 2 号議案	平成 2 9 年度白石市国民健康保険特別会計補正予算 (第 3 号)
第 2 3 号議案	平成 2 9 年度白石市介護保険特別会計補正予算 (第 4 号)
第 2 4 号議案	平成 2 9 年度白石市後期高齢者医療特別会計補正予算 (第 3 号)
第 2 5 号議案	平成 2 9 年度白石市水道事業会計補正予算 (第 2 号)
第 2 6 号議案	平成 2 9 年度白石市下水道事業会計補正予算 (第 2 号)
第 2 7 号議案	平成 3 0 年度白石市一般会計予算
第 2 8 号議案	平成 3 0 年度白石市国民健康保険特別会計予算
第 2 9 号議案	平成 3 0 年度白石市介護保険特別会計予算
第 3 0 号議案	平成 3 0 年度白石市後期高齢者医療特別会計予算
第 3 1 号議案	平成 3 0 年度白石市水道事業会計予算
第 3 2 号議案	平成 3 0 年度白石市下水道事業会計予算

平成29年度 平成30年2月補正予算概要

(単位:千円)

会 計 名		補正前の額	補 正 額	総 額
一 般 会 計		17,123,541	△ 375,290	16,748,251
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	4,520,333	299,616	4,819,949
	介 護 保 険	4,137,236	△ 202,258	3,934,978
	後 期 高 齢 者 医 療	445,925	△ 37,912	408,013
	計	9,103,494	59,446	9,162,940
合 計		26,227,035	△ 315,844	25,911,191

企業会計

(単位:千円)

会 計 名	補正前の額	補 正 額	総 額
水 道 事 業 会 計	1,243,627	△ 3,324	1,240,303
下 水 道 事 業 会 計	2,194,381	26,871	2,221,252

※企業会計は収益的支出+資本的支出

2月補正の主な事業及び金額

一般会計

(単位:千円)

事業名	金額
・地籍調査事業	11,500
・地方道路整備事業(市道矢ノ口家老沢線法面防除工事)	40,050
なお、上記以外は事業費確定等による減額補正が主である。	

平成30年度一般会計・特別会計等予算総括表

(単位:千円)

区 分 会 計 別	平成30年度	平成29年度	現計予算額	比 較 増 減			
	当初予算(A)	当初予算(B)	12月補正(C)	(A)－(B)	増減率(%)	(A)－(C)	増減率(%)
一般会計	14,621,115	15,415,823	17,123,541	△ 794,708	△ 5.2	△ 2,502,426	△ 14.6
特別会計							
国民健康保険	3,846,105	4,493,411	4,520,333	△ 647,306	△ 14.4	△ 674,228	△ 14.9
介護保険	3,673,330	3,876,363	4,137,236	△ 203,033	△ 5.2	△ 463,906	△ 11.2
後期高齢者医療	413,388	429,660	445,925	△ 16,272	△ 3.8	△ 32,537	△ 7.3
特別会計計	7,932,823	8,799,434	9,103,494	△ 866,611	△ 9.8	△ 1,170,671	△ 12.9
合 計	22,553,938	24,215,257	26,227,035	△ 1,661,319	△ 6.9	△ 3,673,097	△ 14.0

企業会計

水道事業会計	1,628,644	1,234,624	1,243,627	394,020	31.9	385,017	31.0
下水道事業会計	1,994,258	2,172,308	2,194,381	△ 178,050	△ 8.2	△ 200,123	△ 9.1

注:企業会計については収益的支出+資本的支出額

平成30年度 当初予算概要

担当：総務部財政課

平成30年度一般会計当初予算は、146億2,111万5千円。前年度当初予算に比べ、7億9,470万8千円（△5.2%）の減となっており、3年連続のマイナス予算となりました。これは、地方創生推進交付金事業や地方道路整備事業、辺地対策事業に係る経費などの増加はあるものの、白石市外二町組合及び下水道事業会計への繰出金の減少、臨時福祉給付金給付事業の終了などによるものです。

主な事業の詳細は別紙1から8のとおりです。

平成30年度当初予算の主要事業

一般会計

(単位：千円)

事業名	金額
○「農商工連携を核とした賑わい交流拠点施設」整備	394,204
・子育て支援・多世代交流複合施設のオープン	37,305
・6次産業チャレンジ法人支援事業	106,899
・農産物等販売施設整備事業	250,000
○定住の促進	47,714
・（仮称）白石市移住交流サポートセンター運営事業	35,490
・地域おこし協力隊推進事業	12,224
○農林業の振興	18,639
・日本一の米復活プロジェクト事業	3,670
・しろいし農産物ブランド化推進事業	13,969
・農業次世代人材支援事業	1,000
○子育て支援の充実	75
・産後ケア費用補助金交付事業	
○戊辰戦争150周年事業	20,000
○全日本こけしコンクール第60回記念事業	6,900
○東北観光復興対策交付金事業	48,391
○地方創生推進交付金事業（※上記の一部事業を含む）	480,709

平成30年2月議会 記者会見資料
平成30年度当初予算関係

「農商工連携を核とした賑わい交流拠点施設」整備

○ 子育て支援・多世代交流複合施設のオープン

担当：保健福祉部子ども家庭課

子育て支援・多世代交流複合施設は、現在福岡長袋の国道4号線沿いに本年8月のオープンを目指して整備を進めているところです。

施設内には大型遊具を備え、小学生までの子どもが天候を気にせず安心して遊べる年齢に応じた遊び場をはじめ、子育てに疲れたときのリフレッシュ空間や絵本コーナーなどを用意し、体を動かすだけでなく親子ふれあいの場としての機能も持たせます。加えて、本施設における各種交流事業を展開し、子どもの屋内遊び場を通じた多世代の交流を生み出し、同一拠点内に整備予定の農産物等販売施設、地元食材活用レストラン等農商工施設との連携により賑わいの創出を図ります。

これらにより、子育て支援・多世代交流複合施設が親子で楽しめ、何度も来たくなる魅力的で特色ある施設となり、若い世代を中心とした定住支援や子育て支援強化の切り札として「住みたいまち白石市・子育てするなら白石市」を目指します。

○事業概要

1 実施場所

白石市福岡長袋字八斗蒔38番地1

2 利用対象者

- (1) 生後6か月～小学生までの子ども
- (2) (1)の保護者等子どもの安全管理ができる方

3 開館時間及び休館日

- (1) 開館時間：10時～17時
 - (2) 休館日：毎週木曜日及び年末年始
- ※ 木曜日が祝日の場合は翌平日

4 使用料

	利用区分	使用料	備考
(1)	個人	300円	
(2)	団体	240円	
(3)	障がい者	240円	
(4)	パスポート	3,000円	利用期間6か月
(5)	回数券	3,000円	11回分

※ (1)～(3)は1人1回の金額

5 オープン時期

平成30年8月予定

[歳入] 使用料

子育て支援・多世代交流複合施設使用料 10,134千円

[歳出] 3款 民生費 2項 児童福祉費 8目 子育て支援・多世代交流複合施設費
3事業 子育て支援・多世代交流複合施設運営事業

1 1節 需用費（電気料、水道料） 6,190千円

1 2節 役務費（保険料） 11千円

1 3節 委託料 30,464千円

（子育て支援・多世代交流複合施設運営業務委託料、保守点検委託料等）

1 4節 使用料及び賃借料 640千円

合計 37,305千円

○6次産業チャレンジ法人支援事業

担当：市民経済部商工観光課

白石市まち・ひと・しごと創生総合戦略における「農林業生産の6次産業化促進と担い手の育成」の中の「6次産業化促進による新たな産品開発と販路の拡大」について、本市ではモデル事業として展開を図っていくこととし、白石市中小企業振興基本条例に基づき設置している白石市産業振興会議のメンバーを中心として組織された一般社団法人みのり（以下「みのり」という。）をその担い手としてしています。

みのりは、昨年6月に設立され、事業を開始しております。現在、旧白石市生ごみ資源化施設（シリウス）敷地への6次産業化加工施設の整備を進めているところです。

本市では、平成29年度に地方創生推進交付金を活用し、当該事業へ補助を行っており、平成30年度も引き続き、補助を行ってまいります。

平成30年度は、年度当初より加工施設の内装及び厨房設備の整備を行い、6月中に施設を完成させ、2割から4割の規模で試験操業を行いながら取引先の開拓を進めます。本稼働は、平成31年6月頃を目指しております。

[歳入]	国庫支出金				
	地方創生推進交付金			53,449	千円
[歳出]	7款	商工費	1項	商工費	2目商工業振興費
	2事業	一般管理的経費			
	19節	負担金補助及び交付金		106,899	千円

○農産物等販売施設整備事業

担当：建設産業部農林課

農産物等販売施設は、現在福岡長袋の国道4号線沿いに本年12月のオープンを目指して整備を進めているところです。

農産物や加工品、地域特産品等の販売により、農業者等の所得の向上及び地域活性化を図ります。加えて、同一拠点内に整備予定の子育て支援・多世代交流複合施設、地元食材活用レストラン等との連携により賑わいの創出を図ります。

○事業概要

1 実施場所

白石市福岡長袋字八斗蒔20番地1

2 オープン時期

平成30年12月予定

[歳入] 国庫支出金

地方創生推進交付金	125,000千円
市債	112,500千円

[歳出] 6款 農林水産費 1項 農業費 4目 農業振興費

11事業 農産物等販売施設整備事業

13節 委託料 農産物等販売施設施工管理業務委託料
7,500千円

15節 工事請負費 農産物等販売施設整備工事
242,500千円

合計 250,000千円

定住の促進

○(仮称)白石市移住交流サポートセンター運営事業

担当：企業立地定住促進課

移住定住の促進と交流人口の増加を図るため、U I J ターン希望者及び移住定住した方への相談窓口や首都圏等への関連情報の魅力発信、仕事のマッチング、空き家情報の発信、移住体験住宅の管理運営などの拠点施設として「(仮称)白石市移住交流サポートセンター」(以下「サポートセンター」という。)を開設・運営していきます。

サポートセンターは、交流スペース、相談室及び会議室を備えた施設で、仕事や観光で訪れた方や学生が利用しやすい市中心部に位置する店舗兼住宅を改修し、開設します。

また、移住のお試しができる移住体験住宅も併せて開設し、地域としての受け入れ体制を整えていきます。

○事業概要

1 開設予定日

平成30年4月

2 実施場所

(1) 移住交流サポートセンター

白石市字東小路109番地1 189.33㎡

(2) 移住体験住宅

① 白石市字東小路109番地1 95.22㎡

② 白石市小原字町57番地 118.01㎡

[歳入] 国庫支出金

地方創生推進交付金 17,745千円

[歳出] 2款 総務費 1項 総務管理費 8目 定住促進費

2事業 定住促進事業

8節 報償費 91千円

9節 旅費 635千円

11節 需用費 2,084千円

12節 役務費 1,077千円

13節 委託料 29,767千円

14節 使用料及び賃借料 427千円

19節 負担金補助及び交付金 1,409千円

合計 35,490千円

○地域おこし協力隊推進事業

担当：総務部企画情報課
市民経済部企業立地定住促進課
建設産業部農林課

人口減少や高齢化などの進行が著しい地方において、都市地域の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行いながら、その地域への定住・定着を図る取り組みである「地域おこし協力隊」の制度が全国各地で活用され、地域力の維持・強化を目指した活動が展開されています。

本市においても、農林業や移住・定住などの分野で本制度を活用するとともに、地域外の人材を積極的に受け入れ、本市の地域活性化及び地域力強化を図ります。

○地域おこし協力隊の主な活動内容

1 食と農のブランド推進員（1名）

- (1) 地場産品及び地場産品を活かした商品開発と販路開拓
- (2) 農産物や加工品のPR活動
- (3) SNS等を活用した情報発信
- (4) イベント等での販売及び誘客促進活動

2 移住交流アソシエイト（2名）

- (1) 移住促進のための企画、提案、実施
- (2) 若者向けのコンテンツを利用した情報・魅力発信
- (3) 地域資源の活用や発掘を通じて交流が生まれるための企画、提案、実施
- (4) その他移住交流サポートセンターに関わる業務全般（相談、運営、就労支援、空き家活用等）

[歳出]	2 款	総務費	1 項	総務管理費	7 目	企画費
	1 8 事業	地域おこし協力隊推進事業				
	1 節	報酬			6,	1 2 0 千円
	4 節	共済費			1,	8 1 1 千円
	9 節	旅費			4	6 4 千円
	1 1 節	需用費			2	9 5 千円
	1 4 節	使用料及び賃借料		3,	4	3 9 千円
	1 8 節	備品購入費			9	5 千円
				合計	1 2,	2 2 4 千円

平成30年2月議会 記者会見資料
平成30年度当初予算関係

農林業の振興

○日本一の米復活プロジェクト事業 食味日本一の「しろいし米」復活プロジェクト推進事業

担当：建設産業部農林課

本市農業の基幹である稲作経営は、農業従事者の高齢化や担い手不足に加え、米価下落や農業資材の高騰など多くの問題に直面しており、農業従事者の生産意欲の低下につながっています。

本事業は、昨年度に引き続き、作況や市場価格に左右されない、付加価値を付けた「米」の生産が重要と考え、過去に食味日本一を獲得した白石米「ササニシキ」を復活させ、全国に誇れる白石米の生産から販売までの経費の一部を補助し、稲作経営の安定を図るものです。

※平成28年産ササニシキは、「第18回 米・食味分析鑑定コンクール：国際大会」において、【都道府県代表お米選手権】で特別優秀賞を受賞しました。

[歳入] 国庫支出金
地方創生推進交付金 1,835千円

[歳出] 6款 農林水産費 1項 農業費 4目 農業振興費
2事業 農業振興事業
19節 負担金補助及び交付金
しろいしの「食」ブランド化支援事業補助金 3,670千円

○しろいし農産物ブランド化推進事業

- ・白石市農産物ブランド化推進事業
- ・農産物直売所活性化事業
- ・農産物収穫等イベントPR事業

担当：建設産業部農林課

特色ある統一的な農産物を生産するため、生産体制の確立と農産物のブランド化を図り、また、各直売所等との相互連携を行うことで販売の活性化を図るとともに、付加価値の高い商品の生産と安定的な供給体制を構築していかなければなりません。

このことから、市・宮城県大河原農業改良普及センター・各関係機関が連携した栽培講習会や「生産者の顔の見える」農産物の販売活動、ホームページの利用による情報発信等を行い、農産物のブランドとして品質向上と生産意欲の向上を図るものです。

また、イベントPR事業においては、ブランド化を推進している農産物等を販売する農業祭を中心とした秋のイベント全般を網羅したチラシを作成し、市内外及び県内外に広くPRすることで、地域の魅力を深め、交流人口の拡大・移住定住の促進を図るものです。

なお、主な取組みは以下のとおりです。

- ・農産物直売（連絡調整事業を含む）
- ・農産物の特産品を生産しブランド化を図る「白石野菜三白（白かぼちゃ・白とうもろこし・さといも）・菊芋等」
- ・農産物「見える化」事業（ネット環境の整備及び販売システムの確立）

[歳入] 国庫支出金
地方創生推進交付金 6,984千円

[歳出] 6款 農林水産費 1項 農業費 4目 農業振興費
2事業 農業振興事業
19節 負担金補助及び交付金
・白石農産物ブランド化推進事業 10,000千円
・農産物直売所活性化事業 2,000千円
・農産物収穫等イベントPR事業 1,969千円
合計 13,969千円

○農業次世代人材支援事業

担当：建設産業部農林課

経営の安定が難しい就農時の経営確立を支援するため、人・農地プランに位置づけられ就農する45歳未満の認定新規就農者に対し、国庫補助である農業次世代人材投資事業補助金を交付しています。

この年齢要件から外れる45歳以上50歳未満の事業対象者に対し、市独自の施策として、年間最大50万円を最長5年間交付するものです。

○事業概要

- 1 対象者：人・農地プランに位置づけられ、45歳以上50歳未満で、独立・自営就農する認定新規就農者
- 2 補助内容：前年の所得が100万円未満 交付金額 50万円
前年の所得が100万円以上350万円未満
 $(350\text{万円} - \text{前年の所得}) \times 1/5 = \text{交付金額}$
※前年の所得が350万円以上になると交付金額は0円
- 3 主な要件： 交付終了後は、交付期間と同期間営農をすること

[歳出] 6款 農林水産費 1項 農業費 4目 農業振興費
10事業 農業次世代人材投資事業
19節 負担金補助及び交付金
農業次世代人材支援事業補助金 1,000千円

平成30年2月議会 記者会見資料
平成30年度当初予算関係

子育て支援の充実 産後ケア費用補助金交付事業

担当：保健福祉部健康推進課

安心して子どもを産み育てることができるよう、市外で出産した市民が、出産後の一定期間、公立刈田総合病院が行う「産後ケア事業」を利用する際、費用の一部を補助する産後ケア費用補助金交付事業を平成30年度から始めます。

○事業概要

- 1 対象者 白石市民で、出産から2ヶ月以内の産婦
- 2 ケアの内容 公立刈田総合病院への宿泊または通所により
 - ・身体的ケア、保健指導、心理的ケア
 - ・適切な授乳ができるためのケア、乳房ケア、沐浴指導
 - ・育児についての具体的な指導及び相談、生活指導や支援等
- 3 対象期間 7日以内
- 4 補助金額 1日あたり5,000円
(利用料金1日1万円の1/2補助、個室利用料金5千円、消費税は別途必要)

[歳出]	4款	衛生費	1項	保健衛生費	3目	予防費
	6事業	母子保健事業				
	19節	負担金補助及び交付金				75千円

平成30年2月議会 記者会見資料
平成30年度当初予算関係

戊辰戦争150周年事業

担当：総務部企画情報課
教育委員会生涯学習課

平成30年は戊辰戦争から150年を迎えることから、本市では昨年「戊辰戦争150年しろいし慕心プロジェクト」を立ち上げました。

「白石城」や「世良修蔵の墓」といったゆかりの史跡をフル活用し、更なる魅力向上のための記念イベントやキャンペーンなどを開催し、白石で「義」を貫いた先人たちの足跡をたどり、歴史ある白石を慕う市民の心と明日への思いを発信していきます。

主な事業としては、戊辰戦争において、東北の諸藩の命運を決めた「白石会議」とは何だったのかをテーマに、日本の中の白石、東北の中の白石について、著名人や文化人を迎え、トークセッション「白石会議2018」（仮）を予定しております。

また、平成29年度実施した「フォトプロジェクト」を平成30年度も継続事業として実施します。カメラマンの関口照生（せきぐち てるお）氏が、昨年撮影できなかった春、夏、紅葉を撮影し、カメラマンの視点から見た白石の魅力を新発見します。白石の四季が織りなす写真展の開催や、写真を活用した広報物を制作し、白石の魅力をPRします。併せて写真コンテストも開催予定です。

さらに、秋には「歴史シンポジウム」を開催し、奥羽越公議府が設置されたこの白石に、150年の時を経て、仙台・米沢・秋田各藩の歴史研究者3名が集い、奥羽越公議府さながらの議論を展開する予定です。

[歳入] 国庫支出金
 地方創生推進交付金 10,000千円

[歳出] 2款 総務費 1項 総務管理費 7目 企画費
13事業 甲冑のまち事業
13節 委託料 20,000千円

[別紙6]

平成30年2月議会 記者会見資料
平成30年度当初予算関係

全日本こけしコンクール第60回記念事業

担当：市民経済部商工観光課

全日本こけしコンクールは、昭和34年（1959年）4月16日に白石市公会堂（後の白石市市民会館、現在のいきいきプラザ）で第1回目が開催されました。

皇太子明仁親王と正田美智子さん（現在の天皇、皇后両陛下）のご成婚を祝して行われたこの催しは、その後本市を代表する一大イベントとなり、「こけしのふるさと白石」を全国にPRする舞台として定着しました（ただし、第53回は東日本大震災のため中止となっています）。

平成30年度の全日本こけしコンクールは、第60回を記念事業として、高さ12mの巨大こけし「花子」の展示、伝統こけし10系統の工人の皆さん60人が6cmのこけしを作り、60本のセットにして限定数の販売、記念のオリジナルフレーム切手の販売、伝統こけし10系統のこけし灯籠の販売などを考えております。

また、開催期間（3日間）の入場者実績をみると、初日はこけし愛好家やこけ女の皆さんが多く来場し賑わいます。しかし、2日目、3日目となると、入場者は減っていく傾向がここ数年続いております。

このため、2日目はステージショーや参加型イベントなど開催し、こけしを中心としながらも、さまざまな世代の皆さんに楽しんでいただけるようなイベントを加えていく予定です。

さらに3日目は、本コンクールが鉄道による観光キャンペーンの一環として発展してきた歴史があります。そこで、子どもに大人気の「プラレール」を使った子ども向けイベントや、建設職組合による木工教室などを開催して、親子での来場者を増加させ、3日間同時開催している「地場産品まつり」の売上げの向上と商品のピーアールを行いたいと考えています。

[歳入] 国庫支出金

地方創生推進交付金 500千円

[歳出] 7款 商工費 1項 商工費 2目 商工業振興費

2事業 一般管理的経費

19節 負担金補助及び交付金 6,900千円

平成30年2月議会 記者会見資料
平成30年度当初予算関係

東北観光復興対策交付金事業

担当：市民経済部商工観光課

○ 環蔵王インバウンド推進事業

広域観光周遊ルート「日本の奥の院・東北探訪ルート」形成計画観光拠点地区「蔵王・山寺」をPRするため、本市のほか宮城県蔵王町・山形市・上山市が連携して台湾等へ向けてプロモーション活動を実施します。

○事業概要

- ・台湾等で開催される観光博へ出展・旅行雑誌、ホームページ、SNS、動画投稿サイト等を活用した情報発信・ファムツアーの実施・パンフレット制作
- ・研修会、ワーキンググループの開催

○ みちのくおとぎ街道インバウンド推進事業

国道113号の観光ルートの海外での認知度を上げ、観光客の誘致を図るために、本市と七ヶ宿町、南陽市と高島町が連携して外国人観光客の誘客に取り組みます。

また、海外バイヤーを招聘し地場産品を紹介しみちのくおとぎ街道に付加価値を付ける事業を実施するとともに、滞在コンテンツを充実強化を図るため白石城での甲冑試着体験も実施します。

○事業概要

- ・プロモーションビデオ制作・海外バイヤー招聘・海外旅行会社への営業活動
- ・甲冑試着体験、滞在コンテンツ紹介多言語パンフレット印刷

[歳入] 国庫支出金

東北観光復興対策交付金 38,712千円

[歳出] 7款 商工費 1項 商工費 4目 観光費

4事業 観光振興事業

9節 旅費 465千円

11節 需用費（印刷製本費） 6,530千円

13節 委託料 38,396千円

18節 備品購入費 3,000千円

合計 48,391千円

平成30年2月議会 記者会見資料
平成30年度当初予算関係

地方創生推進交付金事業

総括担当：総務部地方創生対策室

本市では現在、地方創生の「核」となる地方創生推進交付金事業として、国から①「次世代につなぐ稼げる農山漁村づくり事業」、②「住みたい・住み続けたいまちしろいし事業」、③「地域資源をフル活用した賑わいまちづくり事業」の計3事業の採択を受け、「農産物ブランド化・6次産業化」「伝統産業継承」「移住・定住促進」「まちの賑わい創出」等、様々な地方創生事業を展開しています。

各事業は、国の地域再生計画の認定を受け3～5年間の継続的な事業実施が認められており、「農商工連携を核とした賑わい交流拠点整備事業・農産物等販売施設整備事業」を始め多様な事業を計上し、地方創生総合戦略の着実な推進を図ります。

① 「次世代につなぐ稼げる農山漁村づくり事業」

396,676千円

宮城県と白石市が連携して、特産品や観光資源、伝統工芸等の地域資源を活用して交流人口の拡大を促しながら、産地としての魅力向上に取り組むとともに、6次産業化による産品や加工品の販路拡大を推進しようとするものです。

○農商工連携を核とした賑わい交流拠点整備事業 **250,000千円**

官民の連携により農産物等販売施設や地元食材活用レストラン、6次産業化加工施設等の農商工振興施設と、大型遊具や交流スペース等を備えた子育て支援・多世代交流複合施設を段階的に一体整備し、地方創生の一大拠点にしようとするもの。

- ・農産物等販売施設整備事業 **250,000千円**
(6款農林水産業費 1項農業費 4目農業振興費) 【別紙資料あり】

○日本一の米復活プロジェクト事業 **3,970千円**

- ・食味日本一の「しろいし米」復活プロジェクト推進事業 **3,670千円**
(6款農林水産業費 1項農業費 4目農業振興費) 【別紙資料あり】
- ・白石の食材を活用した食育事業 **300千円**
(3款民生費 2項児童福祉費 8目子育て支援・多世代交流複合施設費)
【別紙関連資料あり】

○6次産業チャレンジ法人支援事業 **106,899千円**

- (7款商工費 1項商工費 3目商工業振興費) 【別紙資料あり】

○しろいし農産物ブランド化推進事業 **13,969千円**

- ・白石農産物ブランド化推進事業 **10,000千円**
- ・農産物直売所活性化事業 **2,000千円**
- ・農産物収穫等イベントPR事業 **1,969千円**
(6款農林水産業費 1項農業費 4目農業振興費) 【別紙資料あり】

○伝統産業継承事業	10,024千円
・伝統こけし工人後継者育成事業	7,224千円
・伝統工芸品産業振興イベント開催PR事業	1,000千円
	【別紙関連資料あり】
・伝統産業（白石和紙）継承事業 （7款商工費 1項商工費 3目商工業振興費）	1,800千円

○白石の魅力向上を推進する事業	11,814千円
・城花町しろいし事業	8,014千円
花木の植栽等、花と緑を活用した白石の魅力向上に向け、市民とともに取り組もうとするもの （8款土木費 4項都市計画費 2目公園費）	7,000千円
（10款教育費 5項社会教育費 6目地域支援費）	1,014千円
・白石ブランド魅力向上事業	3,800千円
ソーシャルメディアから収集したデータをもとに、賑わい創出に向けたワークショップ等を開催し施設運営やイベント事業等の改善を進めるもの。 （2款総務費 1項総務管理費 7目企画費）	

② 「住みたい・住み続けたいまちしろいし事業」

36,990千円

本市に在住している学生等の若者の定住や、近隣市町村や隣接県さらには東京圏からのU I Jターンを促進するため、地元企業と経済団体等の連携を進め、企業やまちの魅力を発信し、知ってもらい取り組みを強化しようとするものです。

○（仮称）白石市移住交流サポートセンター運営事業	35,490千円
・移住・定住者の相談窓口や空き家情報の提供、お試し住宅の運営	
・首都圏等への関連情報発信、各種移住フェア等への参加	
・小中学生親子、高校生・大学生等を対象とした体験ツアーの企画 等 （2款総務費 1項総務管理費 8目定住促進費）	【別紙資料あり】

○起業・継業セミナー開催経費	1,000千円
東北財務局・日本政策金融公庫と連携して起業・継業希望者等を対象にセミナーや相談会等を開催しようとするもの。 （7款商工費 1項商工費 2目商工業振興費）	

○ICT技術に対応した次世代技術者育成支援経費	500千円
民間団体が市内に開設した高校生や自治体職員等向けドローン等ICT技術の習得・体験スクールの運営支援を行い、若者等の人材育成を促進しようとするもの。 （2款総務費 1項総務管理費 7目企画費）	

③「地域資源をフル活用した賑わいまちづくり事業」

47,043千円

地域資源の磨き上げや伝承を行いつつ、体験型・着地型観光の充実やイベントの開催、効果的なプロモーション推進を通じて、地域経済の活性化と稼ぐ力の向上、交流人口の拡大を進めていこうとするものです。

○地域ブランド（新白石三白）創出推進事業 7,000千円

一次産品や加工品、料理メニュー、工芸品等本市の地域活性化に意欲を持つ事業者等の支援を行うことで、伝統を継承しながら「白石三白」に代わる新たな地域ブランド創出に向けた取り組みを支援しようとするもの
(7款商工費 1項商工費 2目商工業振興費)

○戊辰戦争150年関連事業 20,286千円

・戊辰戦争150年にちなんだ歴史伝承・魅力発信事業 【別紙資料あり】
(2款総務費 1項総務管理費 7目企画費) 20,000千円
(10款教育費 5項社会教育費 4目文化財保護費) 286千円

○地域資源の魅力掘り起こし・創造事業 13,757千円

・大坂夏の陣再現イベント（鬼小十郎まつり）強化事業 7,000千円
・甲冑試着体験強化経費 2,183千円
(2款総務費 1項総務管理費 7目企画費)
・フィルムコミッション強化事業 4,574千円
(7款観光費 1項商工費 4目観光費)

○市中心部の賑わい創出事業 6,000千円

・中心市街地循環バス試験運行事業
(2款総務費 1項総務管理費 7目企画費)

[歳入]	国庫支出金	
	地方創生推進交付金	240,353千円
	市債	112,500千円
[歳出]	地方創生推進交付金事業（合計）	480,709千円